

●佛國の大藝術家コラン氏

日本の洋画に革命の火矢を投じたコラン先生は黒田清輝氏以下白馬會諸畫伯の恩師たり
生涯獨身で清淨な生活を送つた優しい人

△△純粹の巴里ツ兒であつた△△

日本の洋畫界に革命的な感化を與へた佛蘭西第一流の畫伯ラファイエル、コラン氏は去月二十一日巴里
ボージガール街一五二の自邸に長逝した何故か外國電報は未だ其報道を傳へない日本洋畫界の元勳黒田
清輝岡田三郎助和田英作桑佐一郎等白馬會の巨匠を始め知名の畫伯は大抵コラン氏の門を出で、居る傑
作は彼の巴里オデオン座の天井の畫巴里市廳の壁畫岩崎男所藏のマンドリンを弾いてゐる女前田侯爵所
藏花時等である千八百五十年巴里に生れ生涯獨身で送つた佛蘭西藝術界の異彩である行年六十六歳

ルイ、ジヨセフ、ラファエル、コラン畫伯長逝の報を齎して七年の久しき同氏に就いて親しく教を受けた黒田清輝畫
伯を訪へば氏は愁然として語る「先生は吾國洋畫界に偉大な感化を與へた即ち色彩に革命を起したのは全く先生

の感化であるのです其迄の吾洋畫はピチユームを使用して極めて暗い畫を描いてみた之を破つて現在の様な明るい畫を描く様になつたのは先生の力です

コラン先生の畫は極めて柔かい調子

で鮮かな毫も暗い蔭がないと同時に激しい所が無いのが他の追従を許さざる特色である早熟で且つ晩成の人で高等中學を出ると直に美術専門學校に入學して十七八歳の時には已に立派な畫家で二十二年にはサロンで二等を得た此の如きは佛蘭西に於ても異數である其後博覽會に出品して幾度も名譽賞を得た傑作には巴里美術館所藏の裸體畫オデオン座の天井の畫ナペラコシツクの壁畫

岩崎男所藏の女がマンドリンを弾じ

てゐる圖前田侯所藏花時ソルボン大學の壁畫市廳の壁畫等は悉く傑作に數ふべきものである十四五年前に佛蘭西最高の名譽なる學士會員に列せられた妹が一人ある許りで生涯獨身で送つた私の入門したのは先生の三十七八歳の時で久米君も一所であつた性質の極めて温厚な弟子に親切な人であつたから單に畫許りでなく色々の點で感化を受けた事が尠くない私が居た

七年の間に一度も先生の激怒したの

を見た事が無い丁度佛蘭西の騎兵の様な立派な體格の丈の高い大きい人で氣持も柔やよしい人でした先生は花を非常に愛して態々日本から菊や牡丹百合などを取寄せて楽しんでゐた菊の畫を描いた事もあつた嘗て私共が恤兵の爲に展覽會を開いたのを聞いて非常に喜んでゐるといふ手紙が來ました平素は却々丈夫な方でしたが

一昨年大病に罹つたといふ事を聞き

ました恐らく之が先生の今度長逝された原因ではなからうかと思ふ二三日中に築地のカトリック教會で追悼會を開く積りで今交渉中ですが極々内輪の者四五人で先づ先生の妹さんへ宛て、花環を靈前に手向けるやうに送つて置きました要するに現在の佛蘭西には色々の新しい派の人が澤山ありますが先生の如きは幾年かの後になつて光を放つて必ず歴史的に永久に残る人でありませう」云々

『東京毎夕新聞』大正五年二月二〇日